

6章 安心・安全

1節

スマホ・ケータイのマナー

自身の行動, 他者の気になる行動

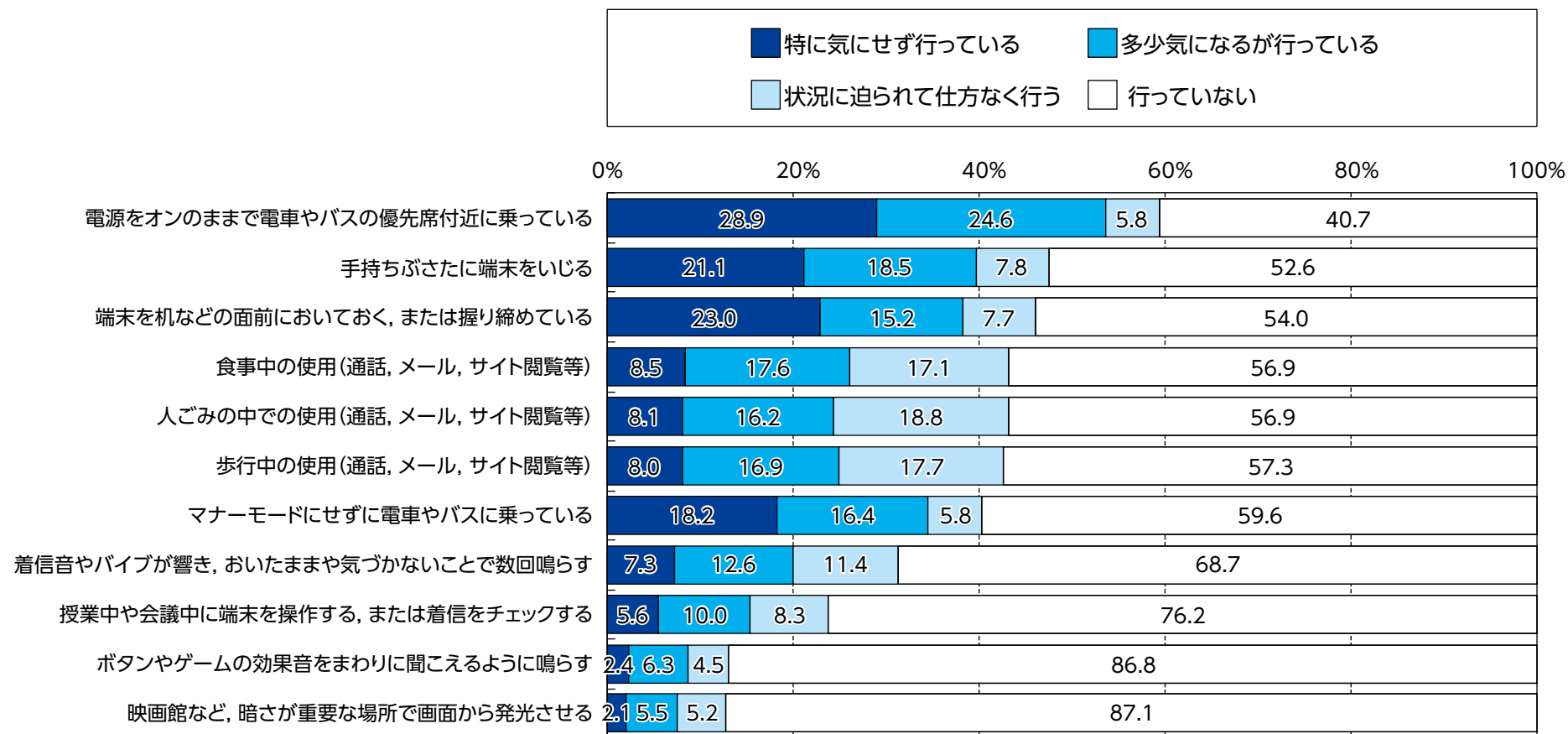
ポイント

- 「歩行中の利用」「食事中的利用」は, 30代以下のスマホ・ケータイ所有者の過半数が行っている(資料6-2, 資料6-3)。
- 他者がスマホ・ケータイを使って「歩行中の利用」「食事中的利用」をしていることを, 50代以上の約半数が「気になる」と回答(資料6-5, 資料6-6)。

[資料6-1]	自身が公衆の面前でスマホ・ケータイを使って行っている行動(単一回答)	75
[資料6-2]	自身が公衆の面前でスマホ・ケータイを使って行っている行動 —歩行中の利用—[年代別](単一回答)	76
[資料6-3]	自身が公衆の面前でスマホ・ケータイを使って行っている行動 —食事中的利用—[年代別](単一回答)	76
[資料6-4]	他者がスマホ・ケータイを使って行っている行動で気になること(単一回答)	77
[資料6-5]	他者の歩行中のスマホ・ケータイの利用が気になるか[年代別](単一回答)	78
[資料6-6]	他者の食事中的スマホ・ケータイの利用が気になるか[年代別](単一回答)	78

1 節 [資料6-1] 自身が公衆の面前でスマホ・ケータイを使って行っている行動(単一回答)

- 「食事中的使用」「歩行中の使用」は4割以上が行っている。



(n=6,136)

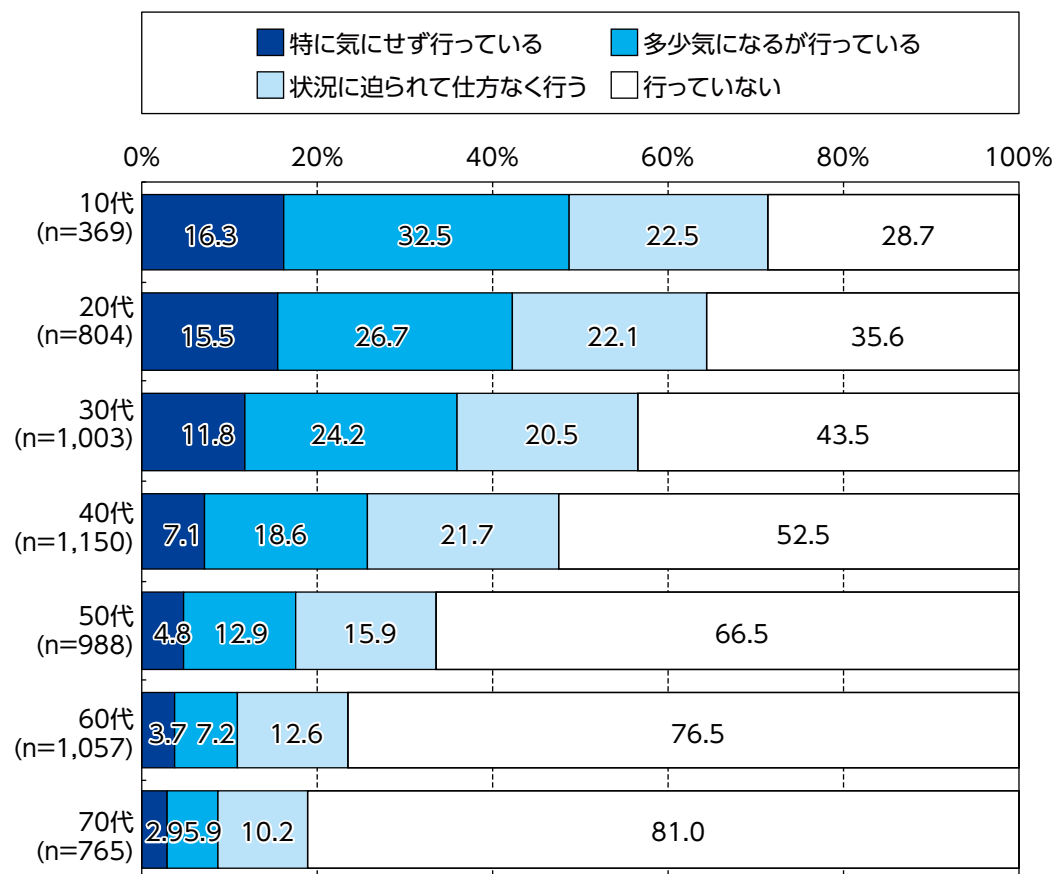
注: スマホ・ケータイ所有者が回答。

出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

1 節

【資料6-2】 自身が公衆の面前でスマホ・ケータイを使って
行っている行動 一歩行中の利用—[年代別](単一回答)

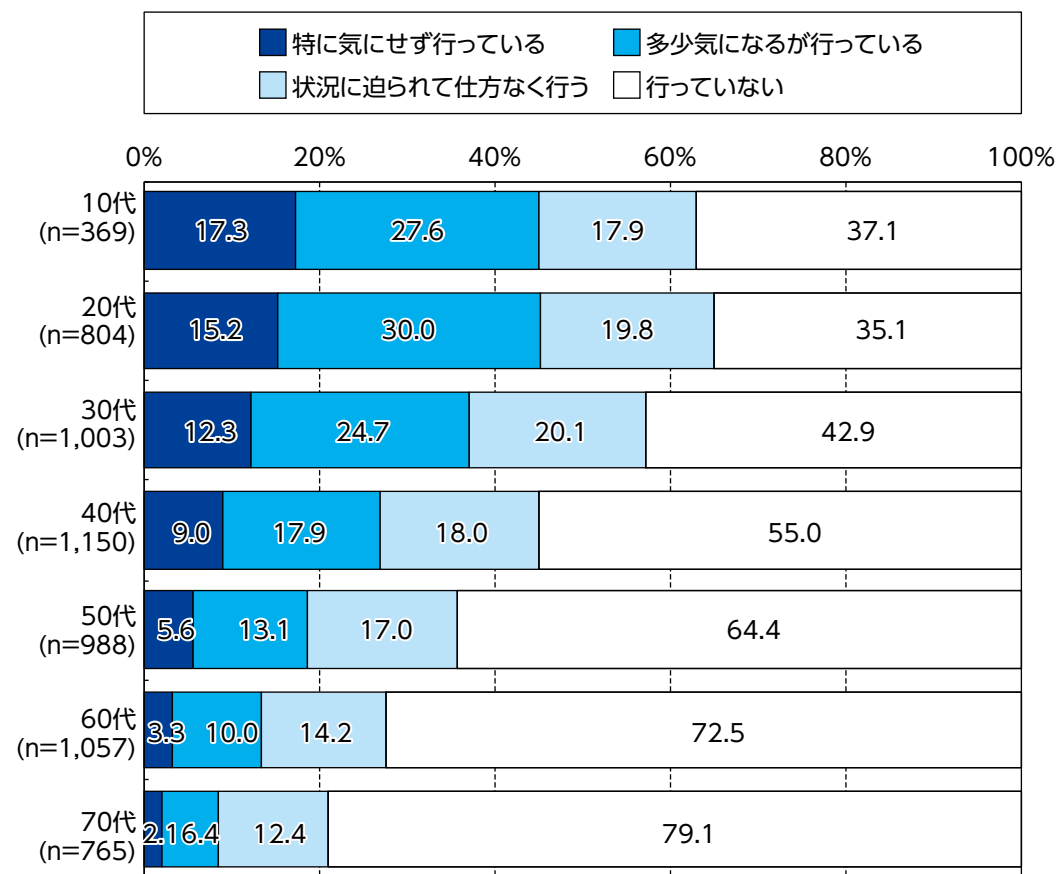
- 年代が上がるに伴い、「行っていない」という割合は拡大し、40代以上で過半数となる。
- 30代以下のスマホ・ケータイ所有者の過半数が行っていると回答。



注: スマホ・ケータイ所有者が回答。
出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

【資料6-3】 自身が公衆の面前でスマホ・ケータイを使って
行っている行動 一食事中的利用—[年代別](単一回答)

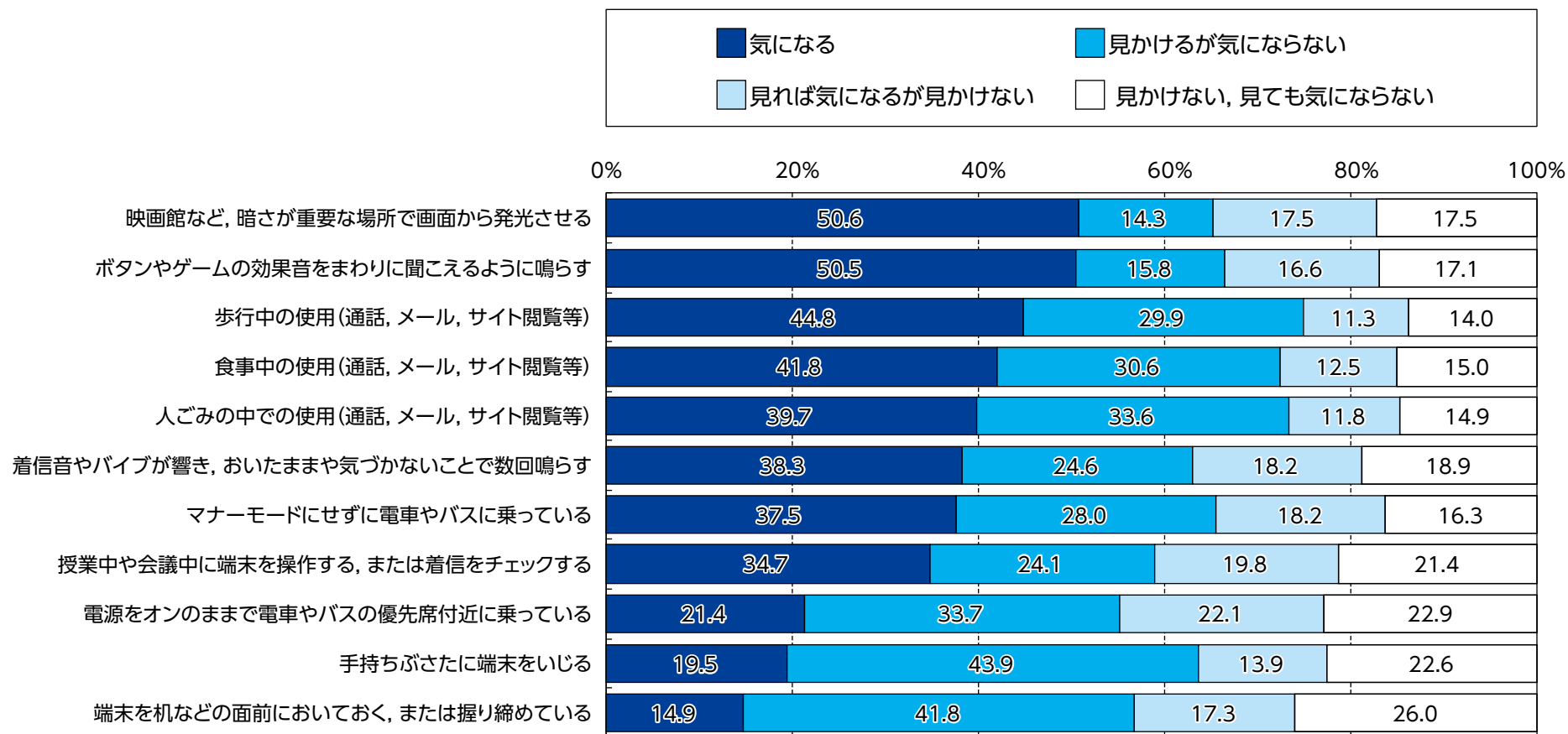
- 歩行中の利用と同様に、年代が上がるに伴い「行っていない」という割合は拡大し、40代以上で過半数となる。
- 30代以下のスマホ・ケータイ所有者の過半数が行っていると回答。



注: スマホ・ケータイ所有者が回答。
出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

1 節 [資料6-4] 他者がスマホ・ケータイを使って行っている行動で気になること(単一回答)

- 音や光に関する事項については、多くの人が「気になる」と回答。一方、端末を面前におくことや、「持ちぶさたに端末をいじる」は、「見かけるが気にならない」という回答が多い。

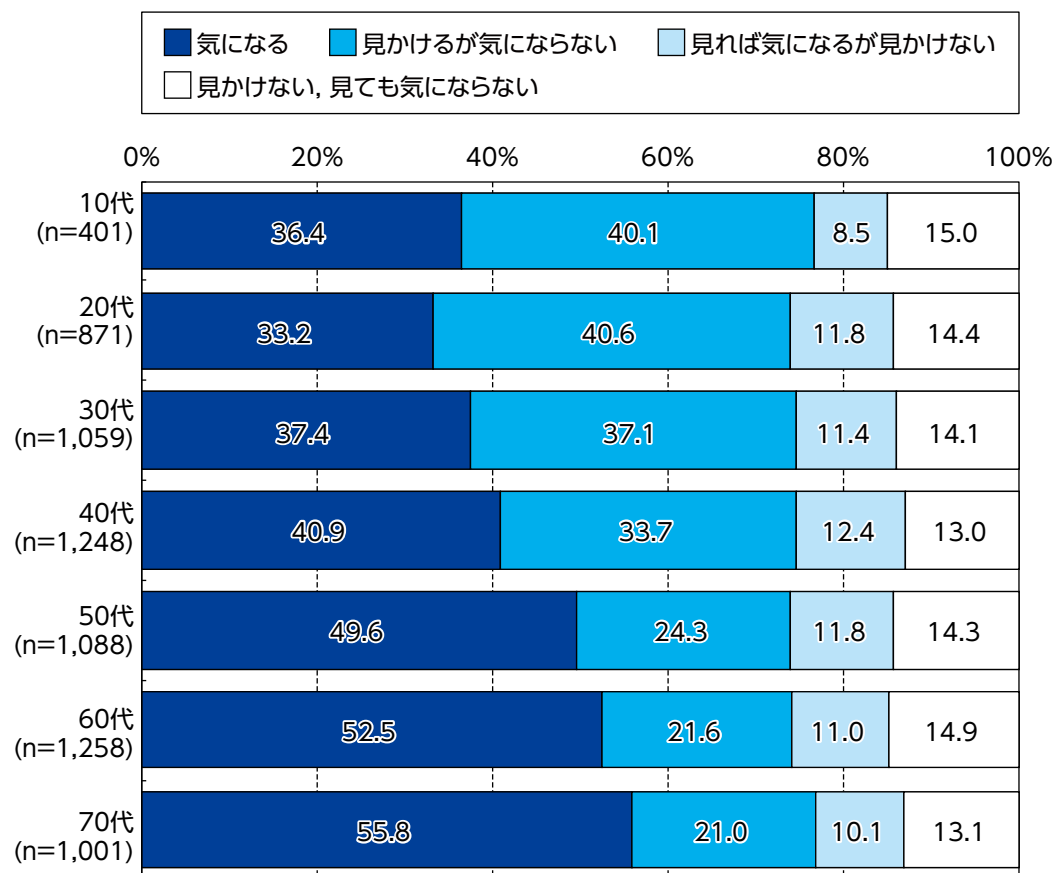


(n=6,926)

1 節

[資料6-5] 他者の歩行中のスマホ・ケータイの利用が
気になるか[年代別](単一回答)

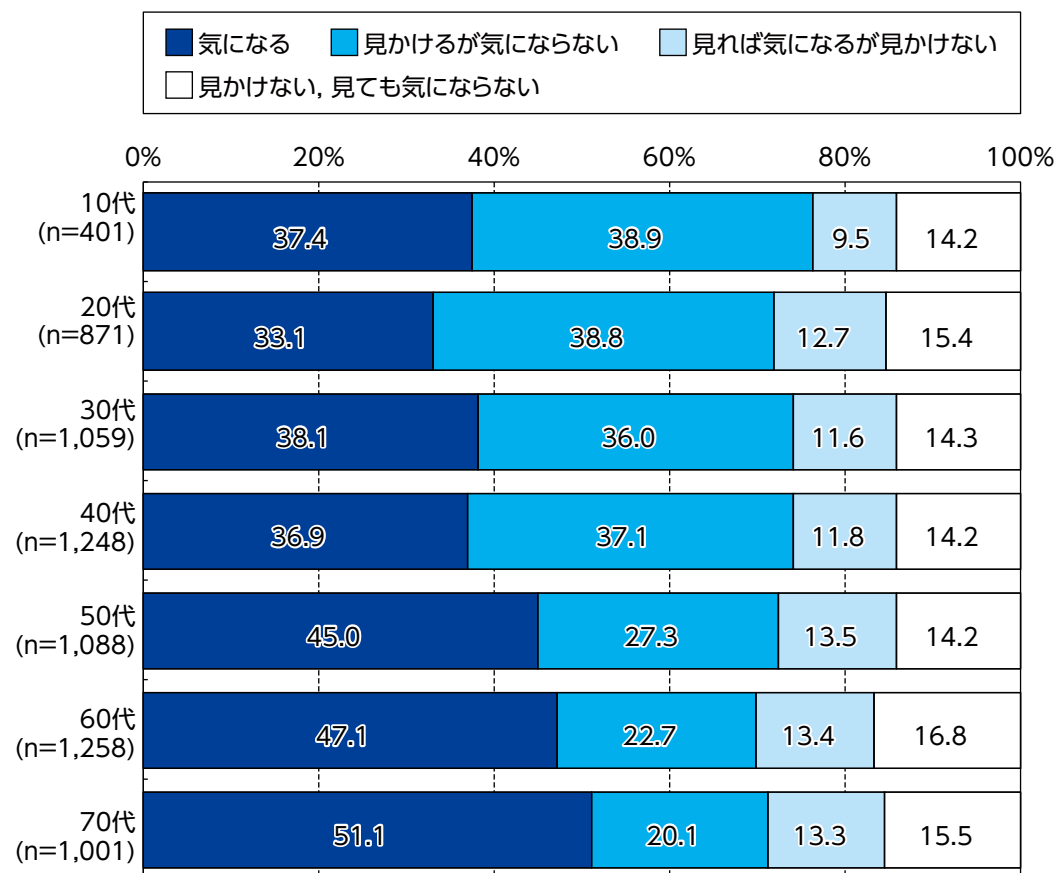
- 年代が上がるに伴い「気になる」という割合が高まり、50代以上の約半数が「気になる」と回答。



出所：2019年一般向けモバイル動向調査

[資料6-6] 他者の食事中的スマホ・ケータイの利用が
気になるか[年代別](単一回答)

- 年代が上がるに伴い「気になる」という割合が高まり、50代以上はおおよそ4割以上が「気になる」と回答。



出所：2019年一般向けモバイル動向調査

6章 安心・安全

2節

スマホ・ケータイのセキュリティ対策

セキュリティ対策内容, 18歳未満のフィルタリング設定率

ポイント

- スマホ・ケータイ利用者の4人に1人がセキュリティ対策を何もしておらず, その割合は60代以上になると4割に拡大(資料6-7, 資料6-8)。
- 18歳未満の子どもへのフィルタリング設定率は微増傾向で2019年では約3割(資料6-9)。

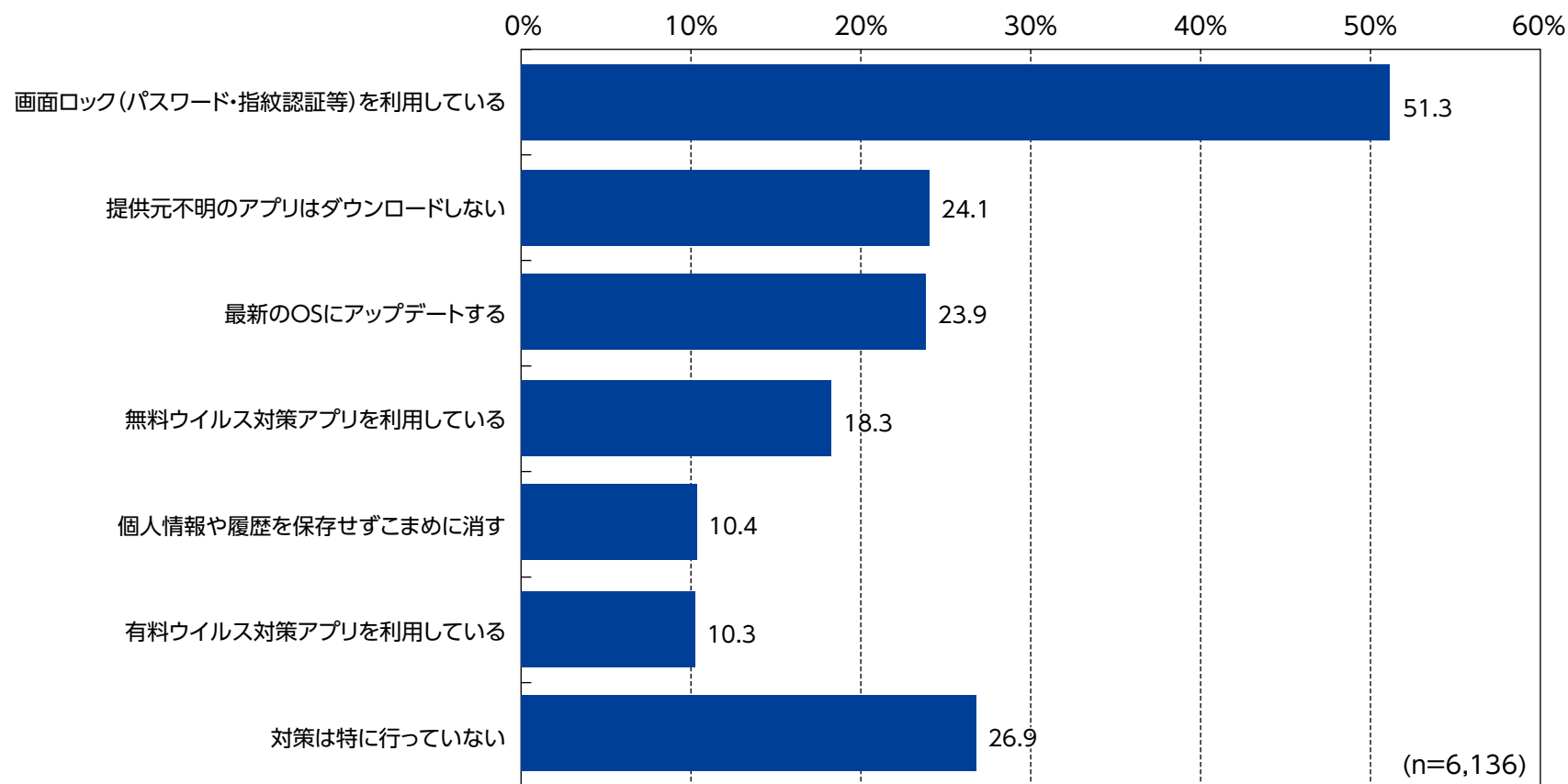
[資料6-7] スマホ・ケータイへのセキュリティ対策(単一回答) ————— 80

[資料6-8] スマホ・ケータイへのセキュリティ対策[性年代別](単一回答) ————— 81

[資料6-9] フィルタリング設定率の年次推移(単一回答) ————— 82

2 節 [資料6-7] スマホ・ケータイへのセキュリティ対策(単一回答)

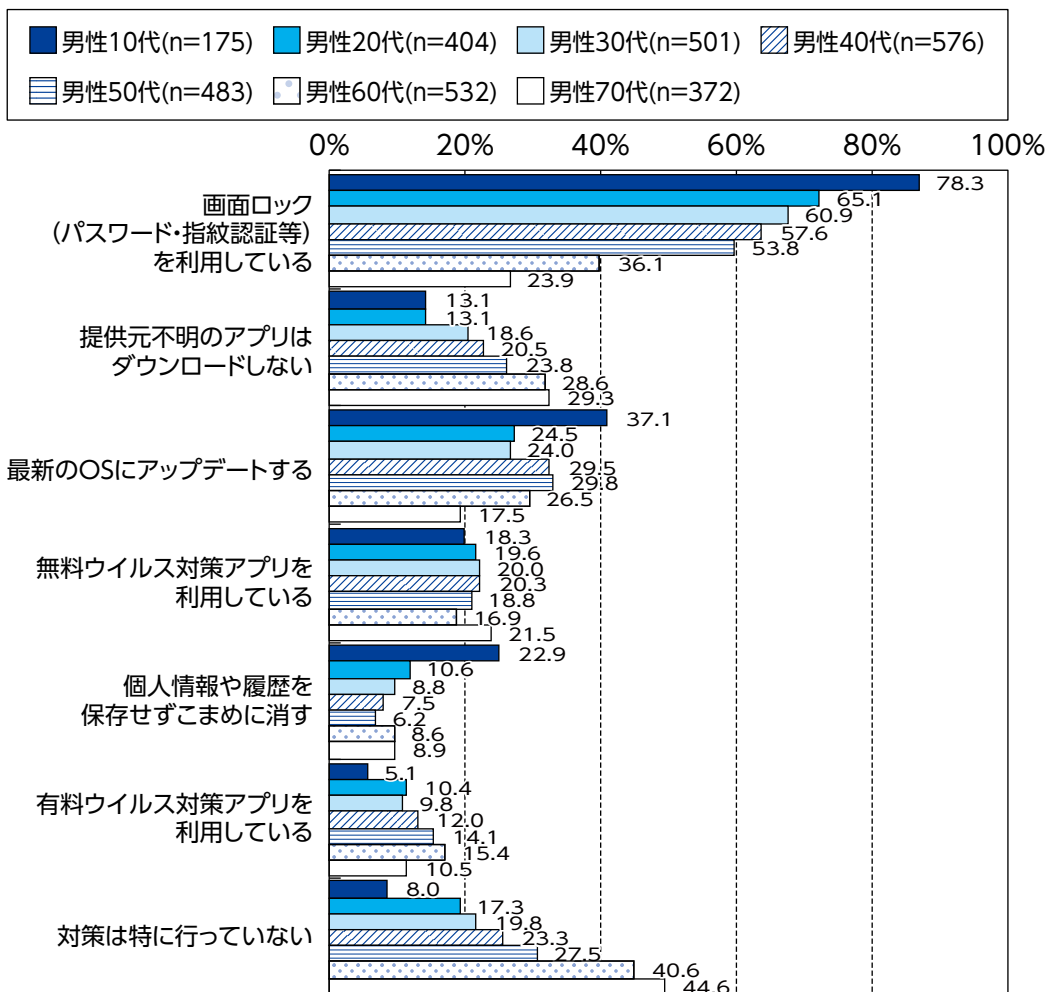
- 4人に1人がスマホ・ケータイから個人情報が漏れたり、悪用されないための対策を特に行っていない。



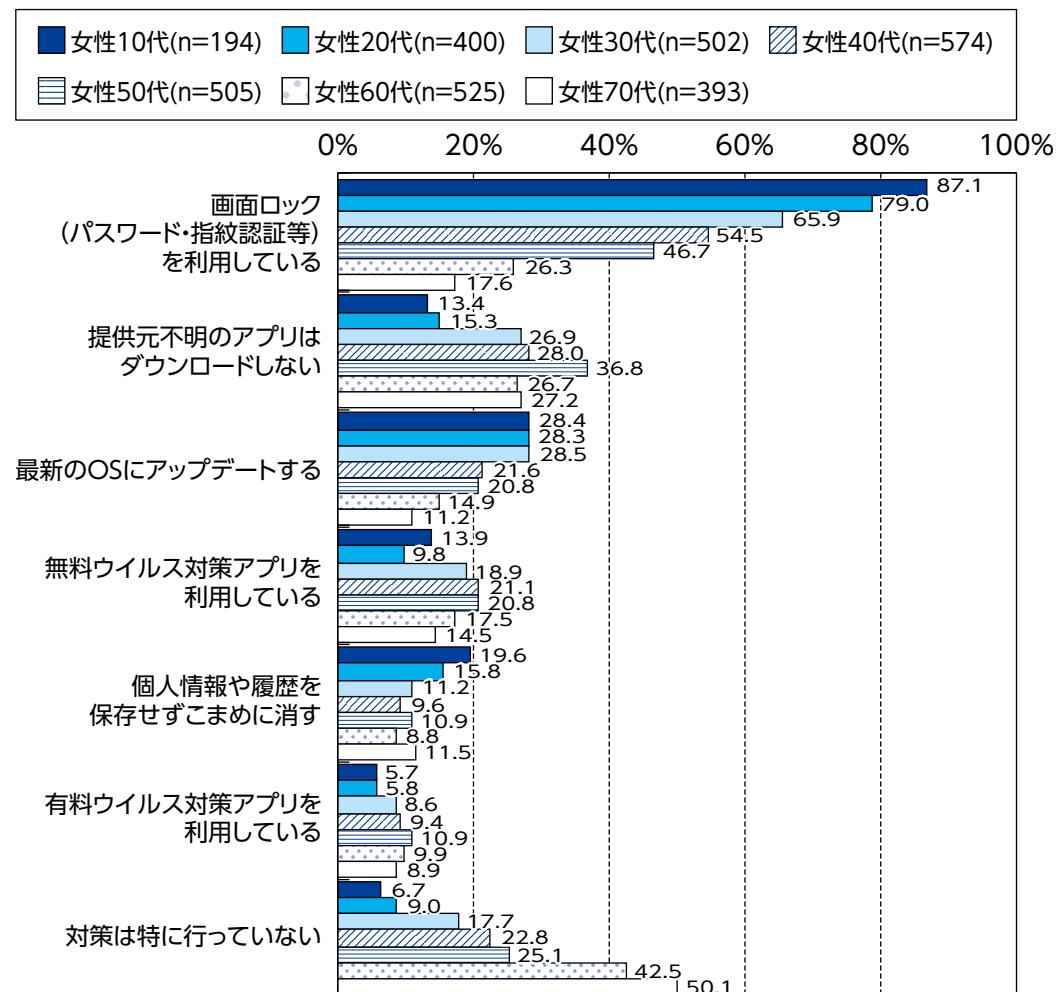
注: スマホ・ケータイ所有者が回答。
出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

2 節 [資料6-8] スマホ・ケータイへのセキュリティ対策[性年代別](単一回答)

● 年代が高くなるに伴い対策を行っている割合は減少。



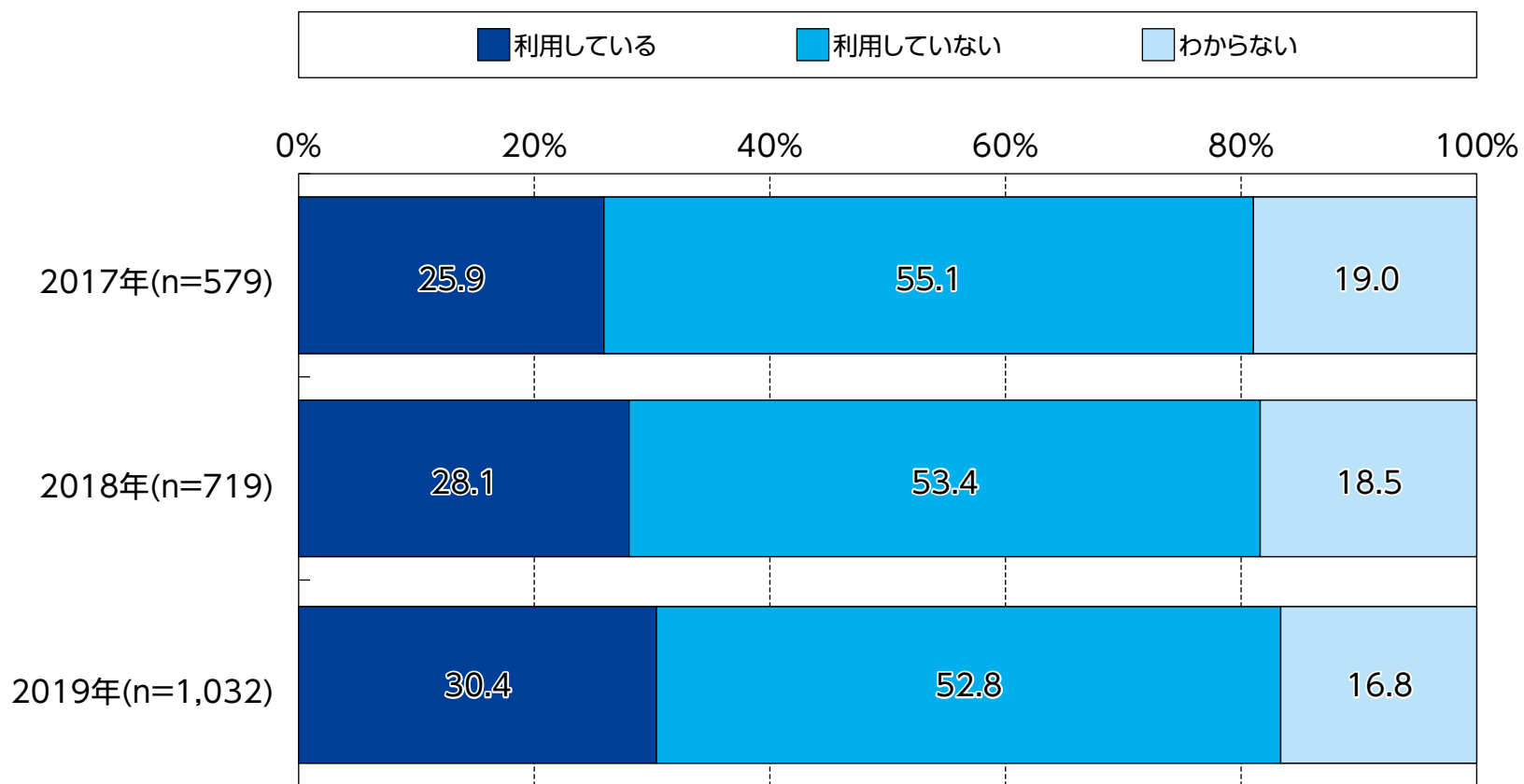
注: スマホ・ケータイ所有者が回答。
出所: 2019年一般向けモバイル動向調査



注: スマホ・ケータイ所有者が回答。
出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

2 節 [資料6-9] フィルタリング設定率の年次推移(単一回答)

- フィルタリング設定率はやや増加傾向であり2019年では約3割。



注: スマホ・ケータイを所有している18歳以下の子どもと同居している保護者が対象。
出所: 2017年-2019年一般向けモバイル動向調査

6章 安心・安全

3節

災害への備え

モバイルバッテリー準備率, 安否確認サービスの認知率

ポイント

- 非常用持ち出し袋や水・食糧などの備えは, 年代が上がるに伴い増加の傾向だが, モバイルバッテリーは年代が上がるに伴い減少の傾向(資料6-11)。
- 年代が上がるに伴い, 避難行動について対策をしている割合は高まるが, 10~30代で「避難所を知っている」とした割合は4~5割(資料6-14)。
- 「災害用伝言ダイヤル」の認知率は約6割。東日本大震災後の2012年, 全国的な気象災害のあった2017年の後に認知が拡大(資料6-15)。

[資料6-10] 災害時の備えの年次推移(複数回答) ————— 84

[資料6-11] 災害時の備え[性年代別](複数回答) ————— 85

[資料6-12] (再掲)避難時の所持品(複数回答) ————— 86

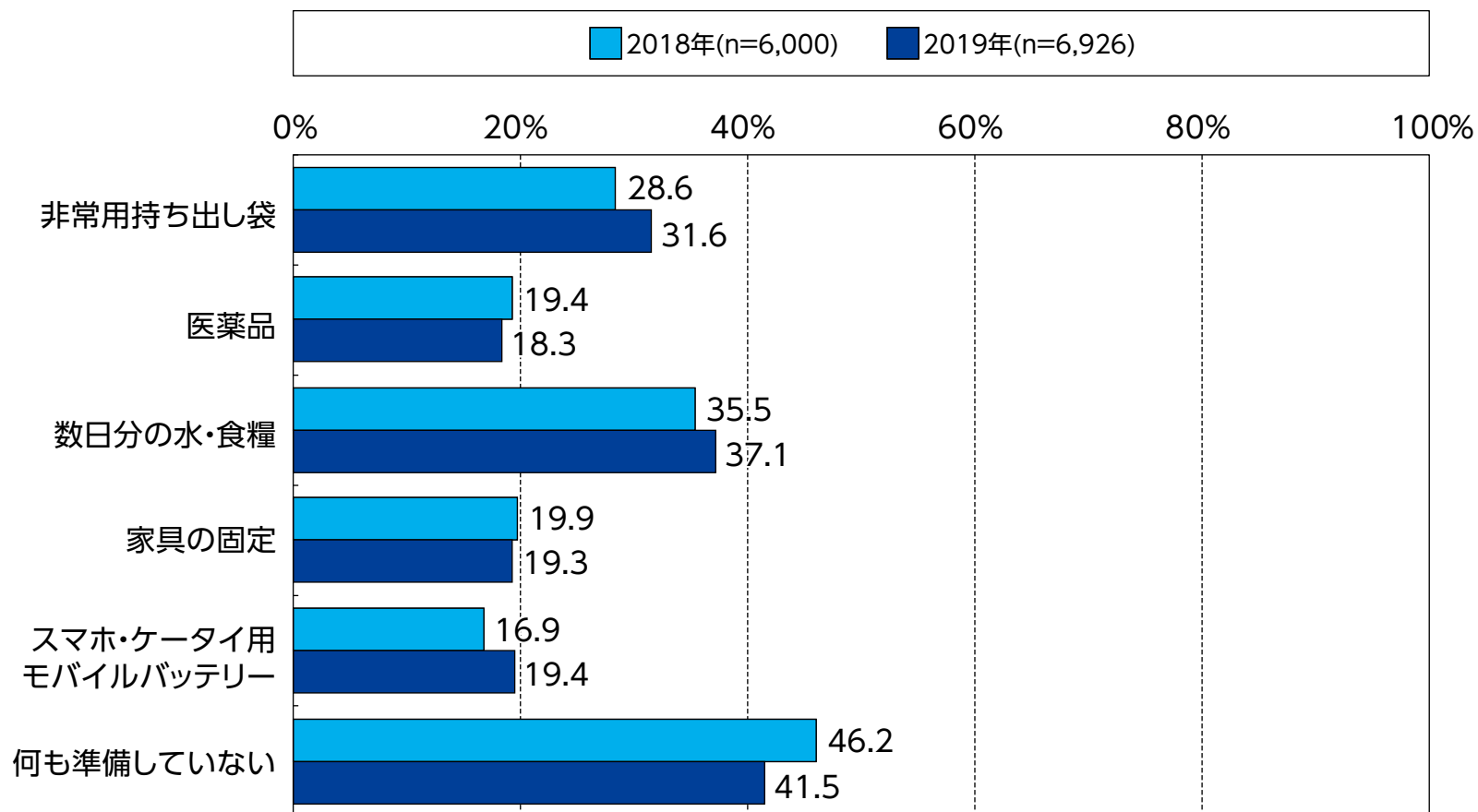
[資料6-13] 避難行動の認識の年次推移(複数回答) ————— 86

[資料6-14] 避難行動の認識[年代別](複数回答) ————— 87

[資料6-15] 災害時の安否確認サービスの認知率の年次推移 ————— 88

3 節 [資料6-10] 災害時の備えの年次推移(複数回答)

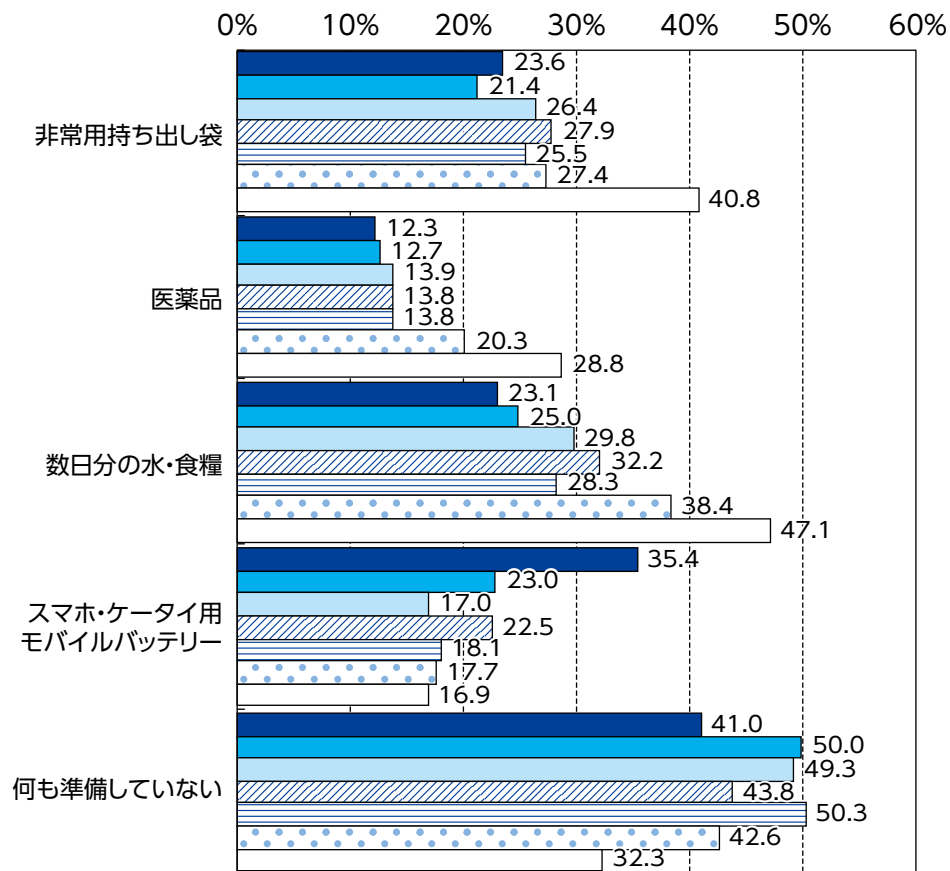
- 何も準備していない人は2018年からやや減少し約4割。
- 「スマホ・ケータイ用モバイルバッテリー」の準備をしている人は、2018年から微増し約2割。



3 節 [資料6-11] 災害時の備え[性年代別](複数回答)

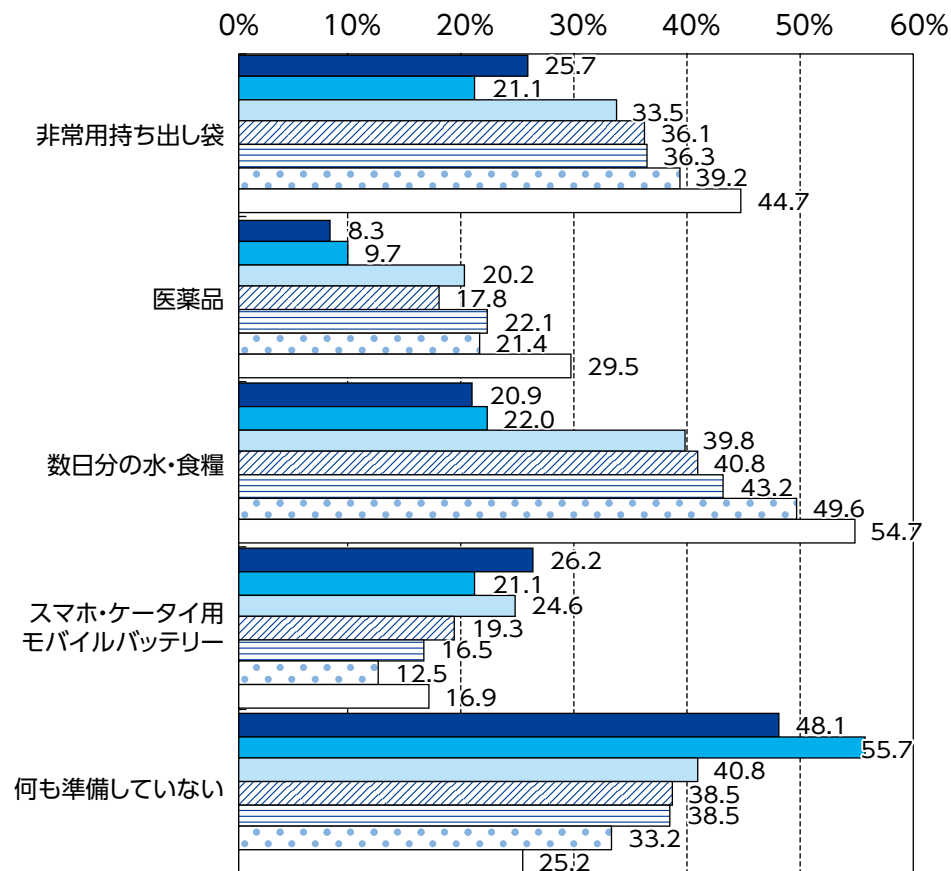
● 年代が上がるに伴い、各種備えの割合は高まるが、「スマホ・ケータイ用モバイルバッテリー」は減少傾向。

■ 男性10代(n=195) ■ 男性20代(n=440) ■ 男性30代(n=534) ■ 男性40代(n=630)
 ■ 男性50代(n=537) ■ 男性60代(n=617) ■ 男性70代(n=473)



出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

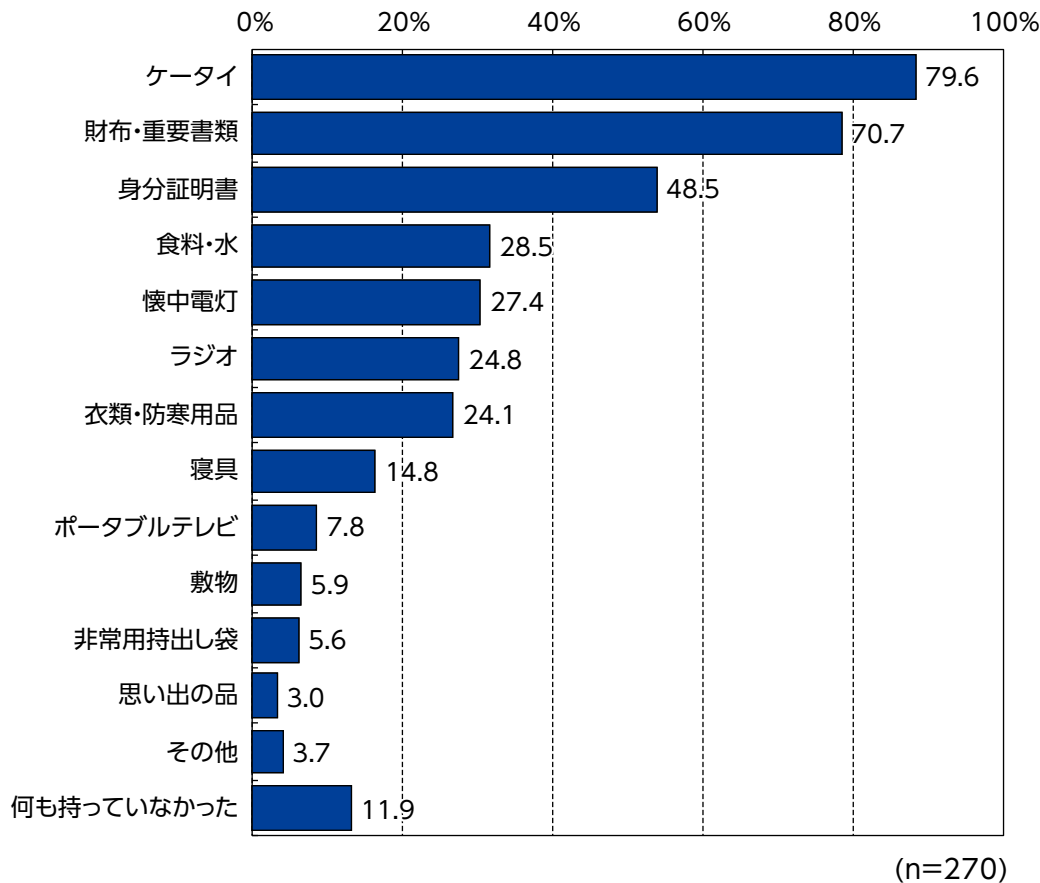
■ 女性10代(n=206) ■ 女性20代(n=431) ■ 女性30代(n=525) ■ 女性40代(n=618)
 ■ 女性50代(n=551) ■ 女性60代(n=641) ■ 女性70代(n=528)



出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

3 節 [資料6-12] (再掲)避難時の所持品(複数回答)

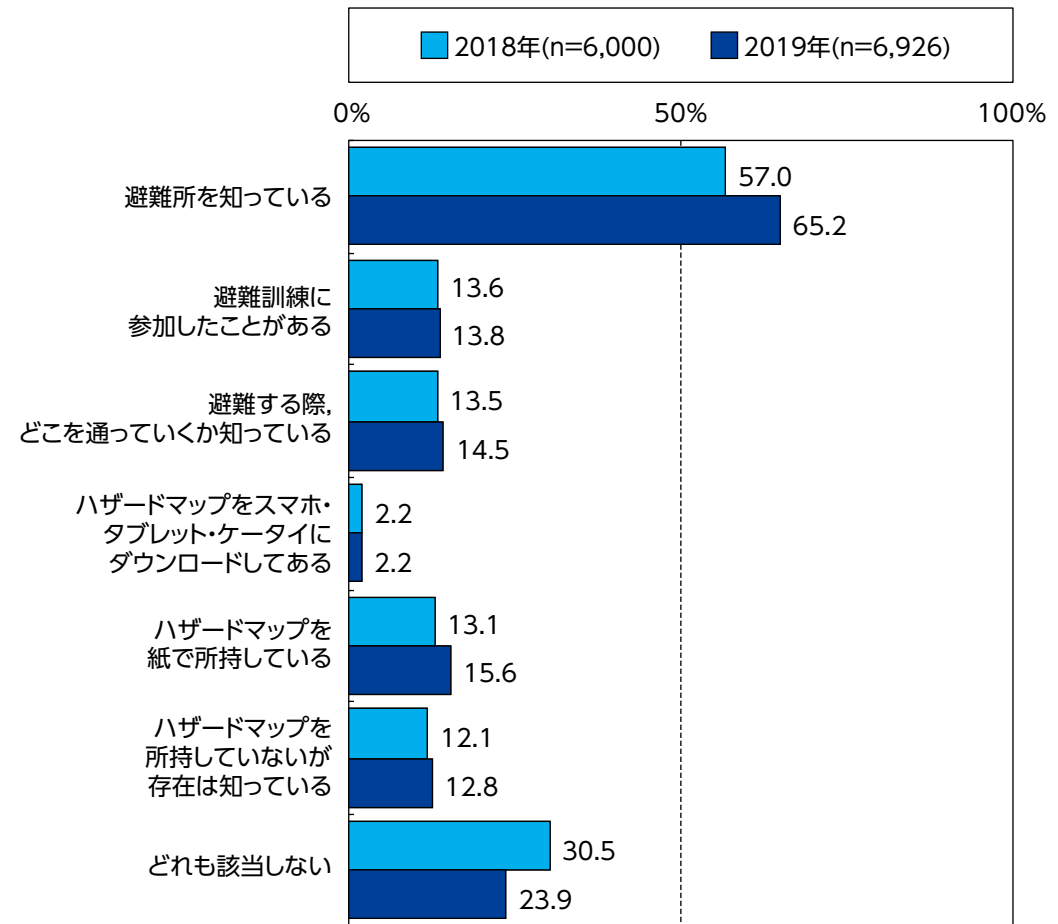
- 東日本大震災の津波被害により、自宅以外の場所に避難された方が所持していたのは「財布・重要書類」よりも「ケータイ」の割合が高い。



注: 津波被害地域在住者のうち、自宅以外の場所に避難された方が回答。
出所: 東日本大震災における通信メディアと情報行動に関する調査(2011年12月)

[資料6-13] 避難行動の認識の年次推移(複数回答)

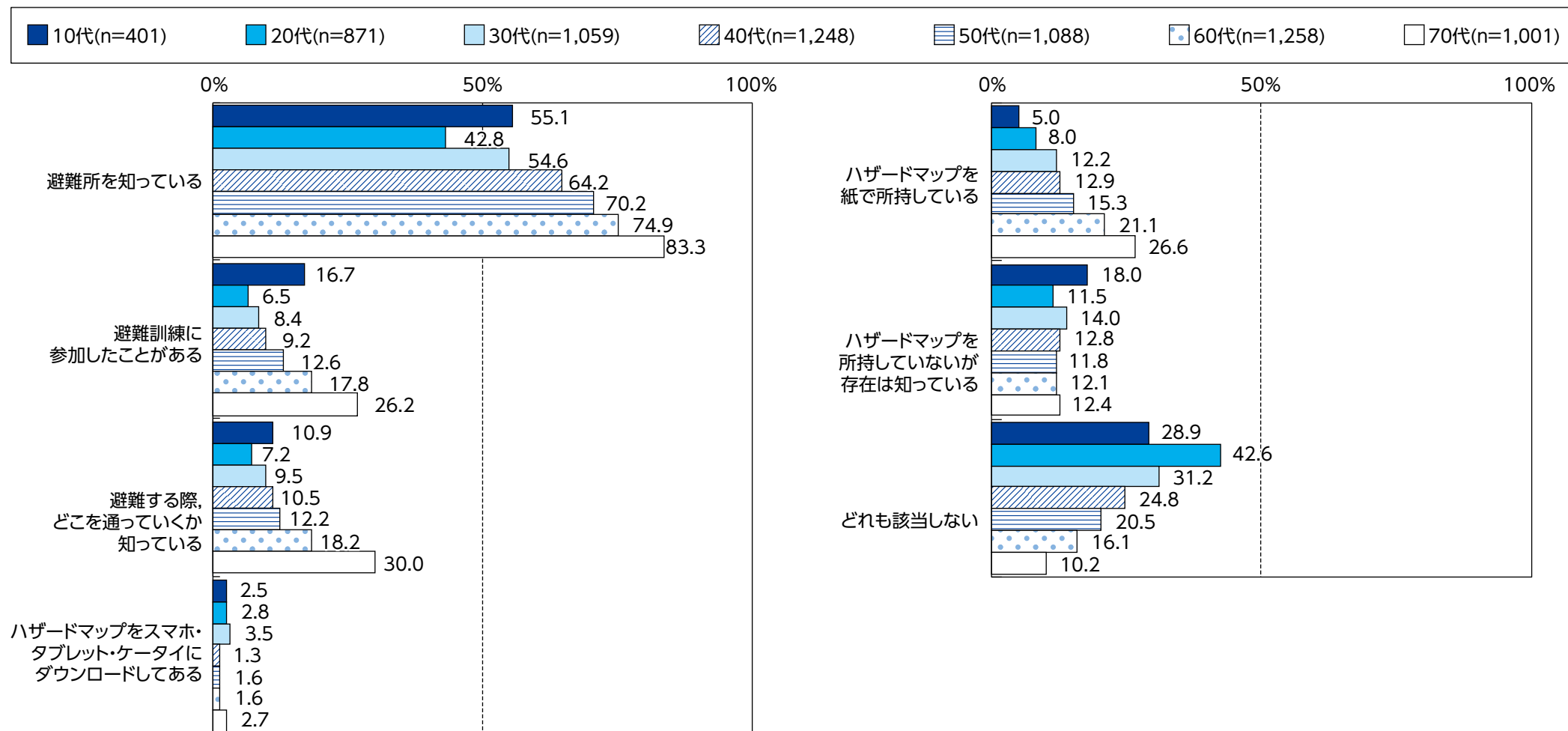
- 「避難所を知っている」と回答した人は65%。



出所: 2018年-2019年一般向けモバイル動向調査

3 節 [資料6-14] 避難行動の認識[年代別](複数回答)

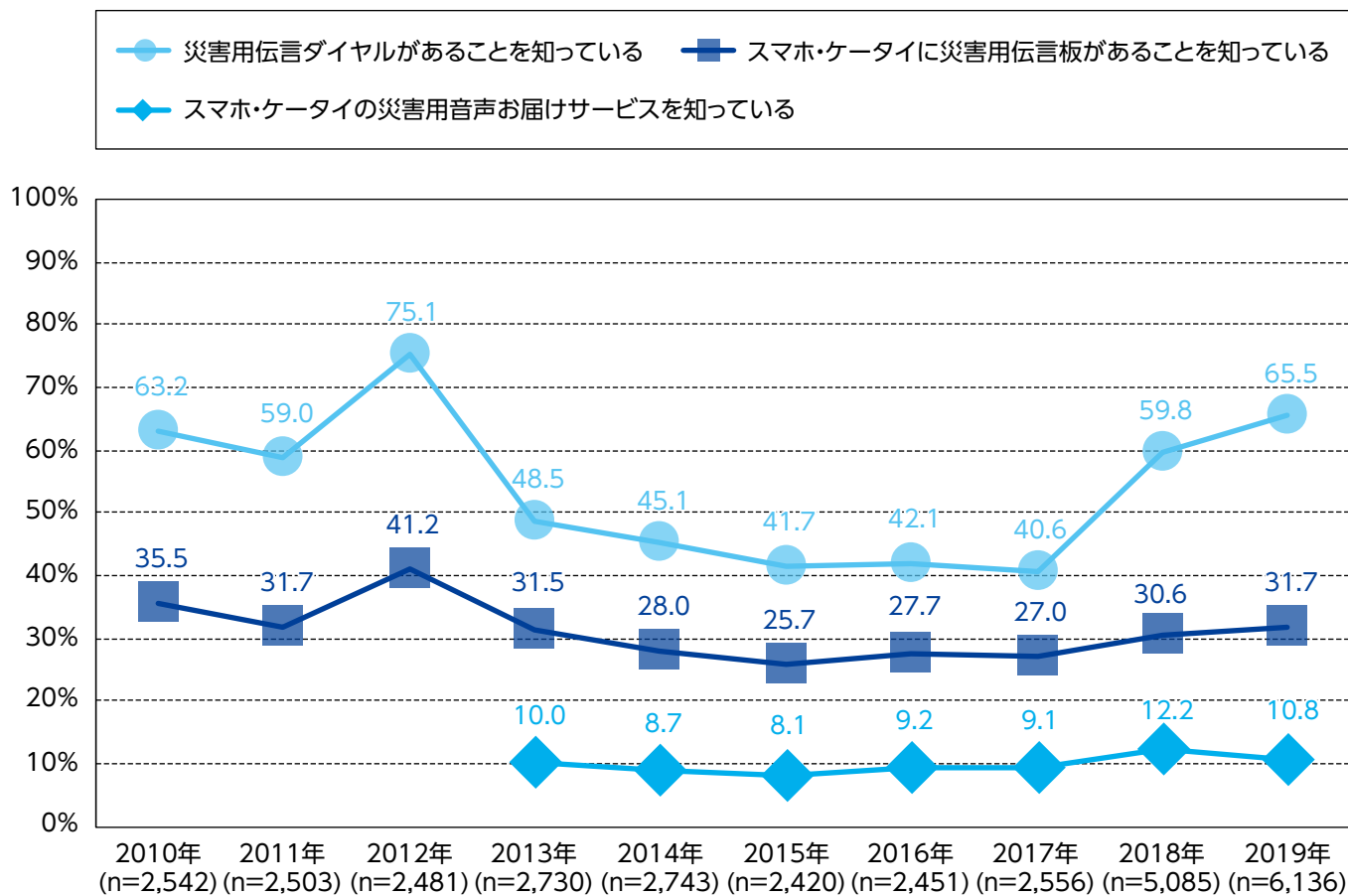
- 年代が上がるに伴い、避難行動について対策をしている割合は高まる。10～30代で「避難所を知っている」は4～5割であり40代以上と比べて低い。



出所: 2019年一般向けモバイル動向調査

3 節 [資料6-15] 災害時の安否確認サービスの認知率の年次推移

- 「災害用伝言ダイヤル」の認知率は2019年では約6割。
- 認知率は東日本大震災後の2012年, 全国的な気象災害のあった2017年後に拡大。



注: スマホ・ケータイ所有者が回答。
出所: 2010年-2019年一般向けモバイル動向調査